蛍光灯システムライト

取扱説明書　FL LINE TYPE-I

yamagiwa

このたびは、ヤマギワの照明器具をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。
この説明書をよくごらんのうえ、正しく取り付け、正しくご使用ください。
お読みになりましたら、この取扱説明書は大切に保管してください。

●電気工事は電気工事店（有資格者）におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

目　次

1ページ　：照明器具の取付（施工）についての安全上のご注意
2ページ　：定格表・オプションパーツ・器具取付寸法
3ページ　：部品名称・器具の取付方法
4ページ　：器具の取付方法（つづき）
5ページ　：オプションパーツの取付方法・照明器具ご使用についての安全上のご注意
6ページ　：ランプ交換のしかた・保守とお手入れ・アフターサービス

照明器具の取付（施工）についての安全上のご注意

⚠ 警告

火災のおそれがあります
◇電源接続の際は、取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行なってください。
◇電源配線は、ランプ表面にふれないように取付けてください。

落下によるけがのおそれがあります
◇取付は取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。
◇器具の取付は、取付ける天井の強度を確認し、質量に耐えるところに確実に行ってください。
強度が不足している場合は、補強工事をしてから取付けてください。

感電のおそれがあります
◇工事が完了するまでは、必ず電源を切っておいてください。
◇ランプの取付けの際には、必ず電源を切ってください。
◇アース工事は電気設備基準及び内線規定にしたがって確実に行ってください。

火災のおそれがあります
◇器具に表示されている以外のランプを取付けないでください。

落下によるけがのおそれがあります
◇傾斜した天井や船底天井、及び取付部のまわりに極端な突出部のある天井に、器具を取付けないでください。

⚠ 注意

◇電気工事は電気工事店（有資格者）におまかせください。一般の方の工事は**法律で禁止**されています。
◇器具に表示された定格電圧以外の電圧で、使用しないでください。
定格電圧を越えた電圧でご使用になりますと**火災の原因**となります。
◇取付けた器具を説明書に従わず無理に回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。
器具落下によるけがの原因となることがあります。
◇カバー・グレアレスルーバー・プリズムデフューザー及びランプの着脱は、両手で静かに扱い、取付けは、確実に行ってください。**落下によるけがの原因**となります。
◇この器具の安定器は、調光用に対応していません。調光器を使用しないでください。
火災の原因となります。
◇この器具は屋内用器具ですが、風呂場等の湿気や水気の多い場所では使用できません。
屋外では使用しないでください。**感電・火災の原因**となります。
◇器具取付の際に、天井の化粧板が厚くて同梱のネジでは十分締め付けられない場合には、同じ径の長いネジをご使用ください。**器具落下によるけがの原因**となることがあります。
◇アース工事が必要な器具は、電気設備技術基準及び内線規定にしたがってアース工事を行ってください。
感電・火災の原因となります。

お願い

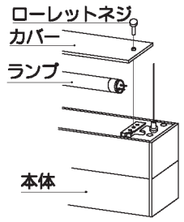
電気工事店様へ
工事が終わりましたら、この取扱説明書を、必ずお客様へお渡しください。

0910

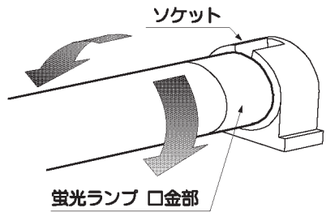
ランプ交換のしかた

⚠ 注意	必ず電源を切って約１０分待ってから行ってください。 感電・やけどの原因になります。

適合ランプ	Ｇ５口金　（同梱ランプは昼白色です） Ｔ５（１６ｍｍ）管蛍光灯　ＦＨＦ**54**Ｗ



●ローレットネジを外し、カバーを静かに取外してからランプ交換してください。
交換が終わりましたら、カバーをもと通り取付けます。
不備がありますと、**器具落下のおそれ**があります。
●必ず上記の**適合ランプ**を使用してください。
誤って使用しますと、**火災・不点灯・器具の破損のおそれ**があります。



ソケットは回転式です。
９０°ランプを回して着脱します。

※細い蛍光管につきランプのお取り扱いには、充分にご注意願います。

保守とお手入れ

⚠ 注意	必ず電源を切って行ってください。感電・やけどの原因になります。

●低温時の点灯では、チラツキや点灯の遅れ、照度不足（光束不足）を生じることがありますが、故障ではありません。
時間の経過と共に安定器の温度やランプの温度が上昇すれば正常にもどります。
●ランプが寿命になると管端が黒くなったり、点滅をくりかえします。
早めにお取り替えください。
●ランプが点灯しない場合は次のことをご確認ください。
・スイッチが入っているか？
・ランプがソケットに確実にはまっているか？
・ランプが切れていないか？

お願い

◇器具のお手入れの際に、ガソリンやシンナー・ベンジン等揮発物で拭いたり、殺虫剤をかけたないでください。
変色・破損の原因となります。汚れがひどい場合は、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってふきとり、乾いたら、柔らかい布で仕上げてください。
◇ぬれた手で器具に触わらないでください。
◇ガラス・陶磁器類は、こわれやすい材料です。お取扱いの際には、両手で静かに行ってください。
◇点灯中及び消灯直後のランプにさわらないでください。やけどをする場合があります。

愛情点検

お読みになりましたら、この取扱説明書は、いつでも見られる所に、大切に保管してください。

アフターサービスのお問い合わせ
yamagiwa

商品に関するご相談およびお問い合わせは、器具本体の表示に書いてある型番をご確認のうえ、お買上げいただきました販売店・工事店へお気軽にご連絡ください。部品についてのお問い合わせは、「部品名称」のイラストをご参照ください。

ヤマギワ　リビナ本館　〒101-0021 東京都千代田区外神田１丁目５番１０号 TEL(03)3253-5111(代表)
東京営業部　〒101-0021 東京都千代田区外神田１丁目５番１０号 TEL(03)3253-5143(代表)　ヤマギワリビナ本館
外商営業本部　〒101-0021 東京都千代田区外神田１丁目５番１０号 TEL(03)3253-5150(代表)　ヤマギワリビナ本館
札幌営業所　〒060-0002 北海道札幌市中央区北二条西１丁目１０番地 TEL(011)221-1321(代表)　ピア２－１ビル７階
仙台営業所　〒980-0013 宮城県仙台市青葉区花京院２丁目１番６１号 TEL(022)227-1251(代表)　第５タカノボルビル８階
横浜営業所　〒231-0015 神奈川県横浜市中区尾上町６丁目８９番１号 TEL(045)664-2871(代表)　尾上町スカイビル５０３
ヤマギワ　名古屋　〒460-0006 愛知県名古屋市中区葵１丁目２２番２０号 TEL(052)931-2111(代表)
名古屋営業所　〒460-0006 愛知県名古屋市中区葵１丁目２２番２０号 TEL(052)931-3223(代表)
近畿営業部　〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場２丁目９番８号 TEL(06)6258-6721(代表)　シマノ・住友生命ビル３階
金沢営業所　〒920-0901 石川県金沢市彦三町２丁目１番４５号 TEL(076)222-6733(代表)　明治安田生命金沢第二ビル５階
高松営業所　〒760-542-00810062 香川県高松市塩上町３丁目８番１１号 TEL(0878)39-3195(代表)　クリエイトビル３０２
広島営業所　〒732-0057 広島県広島市東区二葉の里１丁目１番６８号 TEL(082)568-5371(代表)　広島バレスビル２階
福岡営業所　〒810-0073 福岡県福岡市中央区舞鶴２丁目１番１０号 TEL(092)721-5661(代表)　ＯＲＥ福岡赤坂ビル７階
宇都宮出張所　〒321-0953 栃木県宇都宮市東宿郷６丁目７番１６号 TEL(028)638-1002　マスミトータルビル２階
静岡出張所　〒420-0072 静岡県静岡市葵区二番町７番６号 TEL(054) 273-5305　ローズガーデン４０６

0890

所在地・電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

定格表

↓（）内は200Vの場合です

	器具モジュール	カタログ番号	型番タイプ	色種	使用電圧	入力電流	消費電力	適合ランプ（同梱品）昼白色	質量
単体	2500mm	F-038S・W	04FB-11B7-4S・W	S：シルバー W：ホワイト	AC100/200V 50/60Hz	2.12A (1.06A)	210W	G5蛍光ランプ FHF54W×4	6.8kg
	1250mm	F-039S・W	04FB-12B4-2S・W			1.06A (0.53A)	105W	G5蛍光ランプ FHF54W×2	3.5kg
エンド	2500mm	F-040S・W	04FB-13B1-4S・W			2.12A (1.06A)	210W	G5蛍光ランプ FHF54W×4	6.8kg
	1250mm	F-041S・W	04FB-14B9-2S・W			1.06A (0.53A)	105W	G5蛍光ランプ FHF54W×2	3.5kg
中間	2500mm	F-042S・W	04FB-15B6-4S・W			2.12A (1.06A)	210W	G5蛍光ランプ FHF54W×4	6.8kg
	1250mm	F-043S・W	04FB-16B3-2S・W			1.06A (0.53A)	105W	G5蛍光ランプ FHF54W×2	3.5kg
LED付	1650mm	F-044S・W	04FB-17B0-8S・W		AC100V 50/60Hz	1.11A	111W	G5蛍光ランプ FHF54W×2 LED 1WX6	4.5kg

本品の規格および外観は改良のため予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

オプションパーツ

ワイヤー吊りフランジ エンド用
Z1097
04FZ-13B2-Z0
切込寸法 85

ワイヤー吊りフランジ 中間用
Z1098
04FZ-14B1-Z0
切込寸法 85

ワイヤー吊りフランジ エンド用（給電付）
Z1099
G7FZ-15B7-Z0
切込寸法 85

ワイヤー吊りフランジ 中間用（給電付）
Z1121
G7FZ-23B9-Z0
切込寸法 85

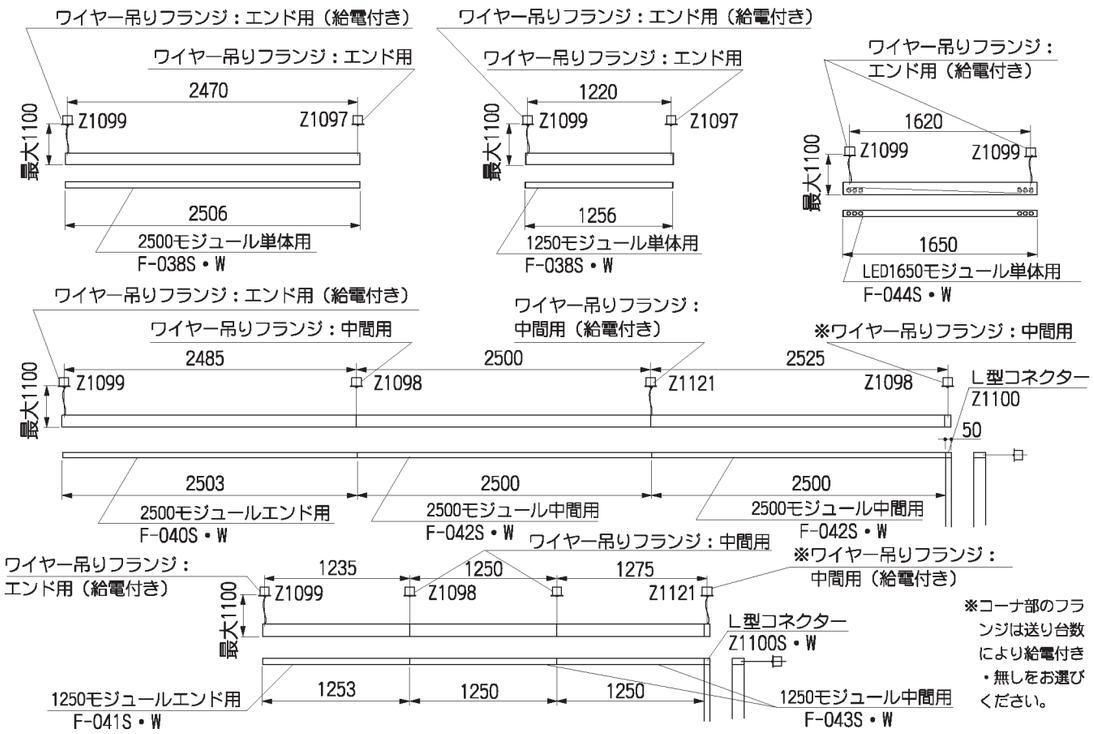
L形コネクター
Z1100S・W
04FZ-16B4-ZS・W
→ 5ページ（図7）参照

グレアレスルーバー
Z1101
04FZ-17B1-Z0
２５００モジュールに取付の場合は2個必要です。

プリズムデフューザー
Z1102
04FZ-18B9-Z0
２５００モジュールに取付の場合は2個必要です。

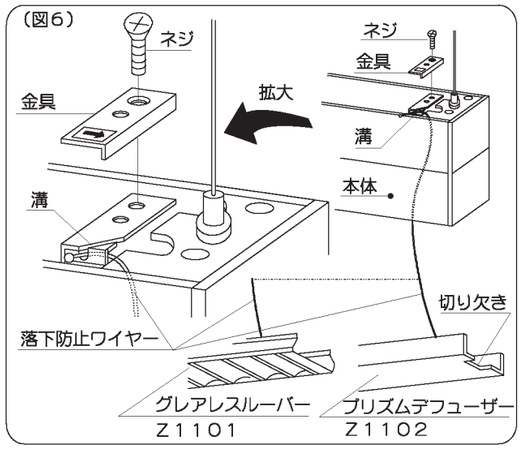
器具取付寸法

※構造上の連結台数は１２５０・１６５０モジュールは８台まで、２５００モジュールは４台まで、これ以上連結の場合は振れ止め等の施工が必要となりますので、特注仕様にて別途ご相談ください。
※電源の送りをする場合は１回路に付き１０Aまでの接続が可能です。１００V給電の場合はFHF５４Wが１６灯まで（上下合計灯数）２００V給電の場合はFHF５４Wが３２灯まで（上下合計灯数）までの接続が可能です。



オプションパーツの取付方法

（図6）



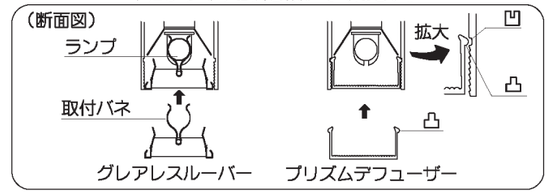
■グレアレスルーバー・プリズムデフューザーメンテ方法

①（図6）のように落下防止ワイヤーを溝に入れ、金具をネジで固定します。**不備がありますと、器具落下の原因となります。**

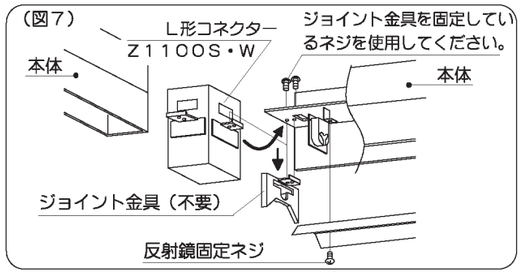
②グレアレスルーバー（Z１１０１）
取付方法・・静かに扱い、取付バネをランプに断面図のように押し上げセットします。
取外し・・・静かに扱い、グレアレスルーバーを下に引き抜きます。

プリズムデフューザー（Z１１０２）
取付方法・・静かに扱い、本体の凹にプリズムデフューザーの凸を入れセットします。
取外し・・・プリズムデフューザーの切り欠きに、指をかけて下にゆっくりと引き抜いてください。

（断面図）



（図7）



■L形コネクター取付方法

（図7）参照

①反射鏡固定ネジを外し、反射鏡を取り外します。

②ジョイント金具固定ネジ（２本）を外し、ジョイント金具を取り外します。（ジョイント金具は不要になります）
外した箇所に左図のようにL形コネクターをセットし、再びジョイント金具を固定していたネジ（２本）で取り付けます。

③必ず、同梱の電源送りコードを使用し接続してください。

④ワイヤー吊りフランジは必ず中間用（Z１０９８、Z１１２１）を使用してください。

照明器具ご使用についての安全上のご注意

⚠ 警 告

感電のおそれがあります
◇ランプの交換や、器具のお手入れの際には、必ず電源を切ってください。

感電・火災のおそれがあります
◇異常時（煙が出たり、変な臭いがする時）には、速やかに電源を切ってお買い上げの販売店にご相談ください。

感電・火災のおそれがあります
◇器具及び部品の改造をしないでください。
◇器具のすきまに、異物（金属類や燃えやすい物等）を差し込まないでくださ

やけどのおそれがあります
◇点灯中及び消灯直後のランプにさわらないでください。

火災のおそれがあります
◇器具に表示されている以外のランプを使用しないでください。
◇器具を布・紙等でおおったりしないでください。又カーテン・揮発物等の燃えやすいもの けないでください。

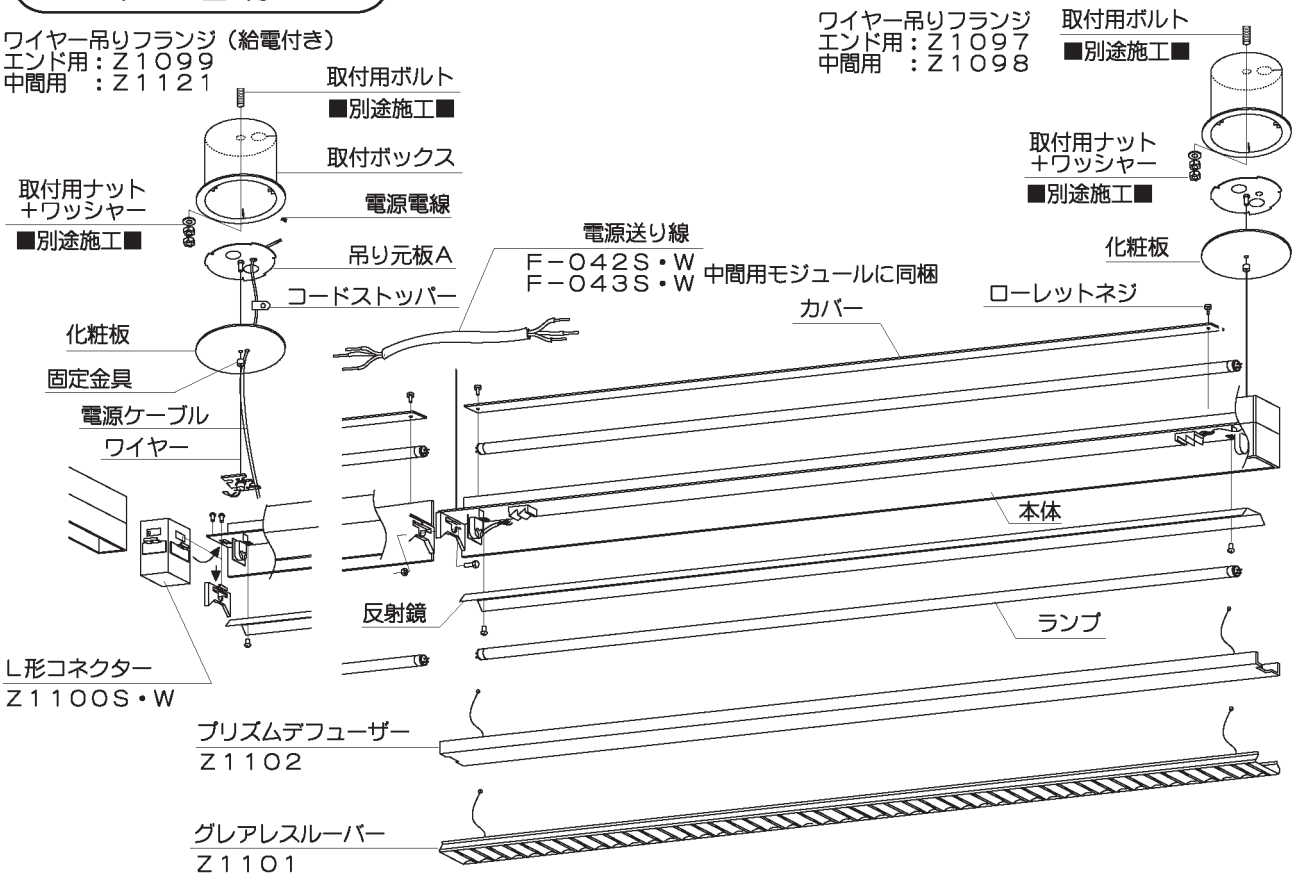
⚠ 注 意

◇器具の保守・お手入れ等で、無理に器具を回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。**器具の落下によるけがの原因**となることがあります。
◇透明カバー・カラーフィルター及びランプの着脱は、両手で静かに扱い、取付けは確実に行ってください。**落下によるけがの原因**となることがあります。
◇明るく安全に使用していただくために、**器具を定期的に（６ヶ月に１回程度）清掃、点検**してください。器具のネジや部品のゆるみがないか、損傷、脱落、コードの痛みがないかお調べください。
◇器具に水をかけたり、水の中につけて洗わないでください。**感電や火災の原因**となることがあります。

◇器具の下に温度の高くなるストーブや、発熱体を置かないようにしてください。**器具の変形や火災の原因**となることがあります。

◇点灯中及び、消灯後はランプにさわらないでください。**やけどの原因**となります。

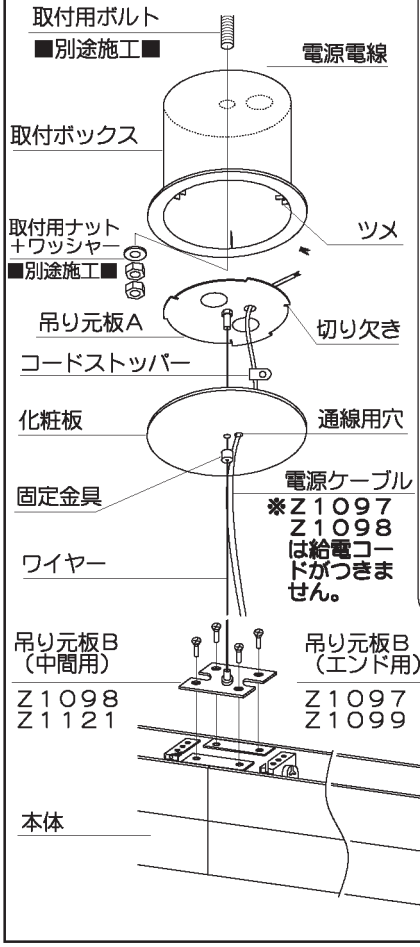
部品名称



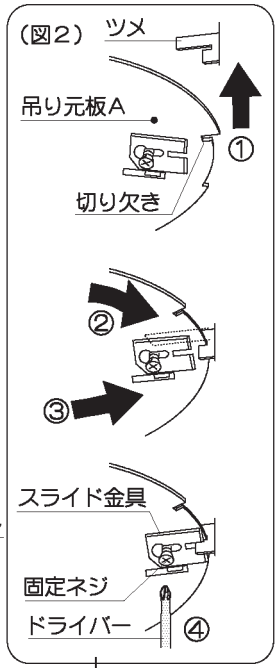
器具の取付方法

ワイヤー吊りフランジ（給電付き）：Z1099・Z1121の場合
（Z1097・Z1098は給電コード無しタイプです）

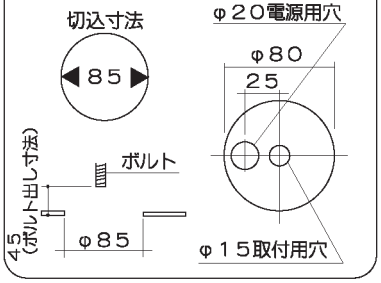
（図1）



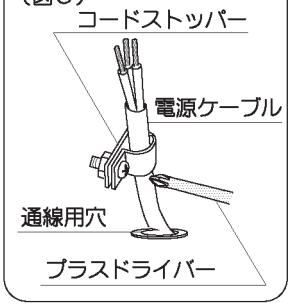
（図2）



■取付寸法図■



（図3）



【施工のまえに】

■1回路につき10Aまでの電源送りが可能です。
100V給電の場合FHF54Wが16灯（上下合計灯数）
200v給電の場合FHF54Wが32灯（上下合計灯数）
■構造上の連結数は1250・1650モジュールが8台まで。
2500モジュールが4台まで。これ以上の連結の場合は振れ止め等の施工が必要になりますので特注仕様にて別途ご相談ください。

■取付部の強度は器具質量に十分耐えるようにしてください。
不備がありますと器具落下の原因となります。

■傾斜した天井には取付できません。

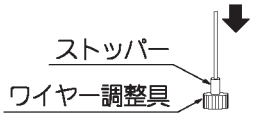
①ワイヤー吊りフランジを天井にとりつける（図1）

固定金具を外し、取付ボックスと化粧板・吊り元板Aを分離し、天井の取り付ける場所の強度をご確認のうえ、2ページの【器具取付寸法】を参照して、適切な間隔を取って取付ボックスを取付用ボルト（別途）で天井に取り付けます。給電用フランジの場合は（図3）を参照して電源ケーブルをフランジ内部のコードストッパーを使用して脱落しないように止めた後、フランジ内部で電源電線と結線しておいてください。また、アース線も引き込み、フランジ内部で接続してください。**この器具は、D種接地工事（第3種接地工事）が必要です。必ず電源を切って作業を開始してください。不備がありますと、感電の原因となります。**

（図2）を参照し、フランジは給電用も非給電用も同様に①取付ボックスのツメに吊り元板Aの切り欠きに入れ、②時計回りに吊り元板Aを回転して③スライド金具をツメにスライドさせ、④固定ネジで締め付け固定させます。

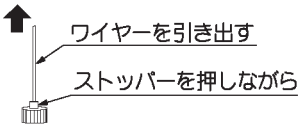
ワイヤー調整方法

■ワイヤーを短く調整する場合
下図のようにワイヤー調整具にワイヤーを押込んでください。
この時、必ず器具本体は支えながら行ってください。

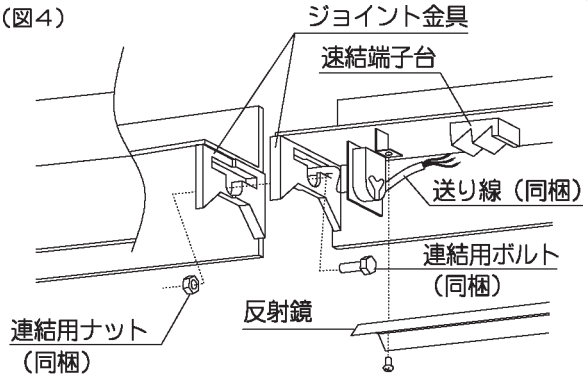


■ワイヤーを長く調整する場合
器具本体をしっかり支えながら、下図のようにワイヤー調整具のストッパーをゆるめて、器具の位置を下げるように調整してください。

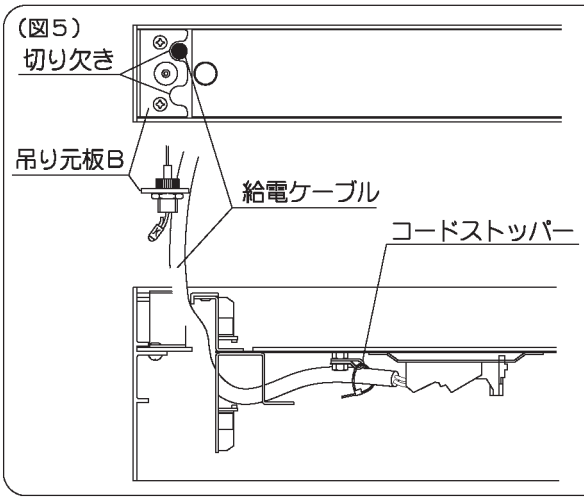
⚠注意
ストッパーを押し上げてる間ワイヤーはロックされませんので器具の重さで一気に下がってしまいます。吊り長さを長くする時は必ず器具本体を支えながら調節を行ってください。



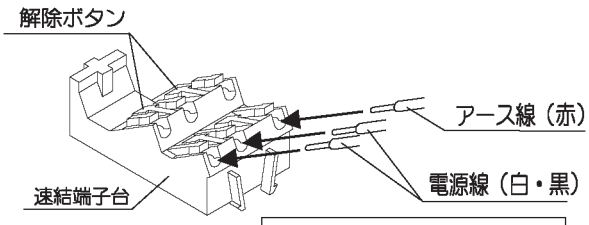
（図４）



（図５）



（図６）



適合電線は同梱のもの
を使用してください。

矢印の方向に、止まるまでぐっと差し込んだあと、引っ張ってみて抜けないことを確認してください。
外すときは、解除ボタンをドライバー等で押込んで外してください。

②吊り元板Ｂ（ワイヤー）に本体を取り付ける（図１）

吊りワイヤーは、２ページの【器具取付寸法】を参照して、ＭＡＸ１１００㎜の間で、器具を吊下げる高さになるように調整します。**不備がありますと、器具落下の原因となります。**

左図のワイヤー調整方法を参照して、ワイヤーを調整し３ページの（図１）のように吊り元板Ｂを付属のネジで締め付け取付けます。**不備がありますと、器具落下の原因となります。**

③－１　本体を単体で取り付ける

（器具を単体で設置する場合のみ）　④の説明へ。

③－２　器具本体と本体を連結する

（複数の器具を連結して設置する場合のみ）
左図４を参照して連結してください。反射鏡を固定しているネジ（２本）を外し、反射鏡をとり、ジョイント金具を同梱の連結用ボルト・ナットで連結します。
本体と本体、本体とオプションの接続のいづれの場合にも、同梱のネジ・ナット等は指定本数を余さず使用して、確実に固定してください。なお、Ｌ形コネクターを使用する場合は５ページの【Ｌ形コネクターを使用する場合】を参照してください。器具を直接連結して本体間で電源の送りをする場合には必ず同梱の送り用電線を使用して連結する器具の端子台間に電源線とアース線を接続してください。

電源の送りをする場合は１回路に付き１０Ａまでの接続が可能です。
１００Ｖ給電の場合は
ＦＨＦ５４Ｗが１６灯まで（上下合計灯数）
２００Ｖ給電の場合は
ＦＨＦ５４Ｗが３２灯まで（上下合計灯数）
の接続が可能です。
構造上の連結数は
１２５０・１６５０モジュールが８台まで。
２５００モジュールが４台まで。
これ以上の連結の場合は振れ止め等の施工が必要になりますので、特注仕様にて別途ご相談ください。

また、（図６）に従い、速結端子台のアース端子にアース線を結線してください。
Ｌ形コネクターは同梱の専用送り電線を使用して電源線とアース線を接続してください。**不備がありますと、感電や火災、器具落下・破損の原因となります。**

④電源ケーブル線とアース線を端子台に接続する（図５）（図６）

吊り元板Ｂの切り欠きに給電ケーブルを通し、本体内部のコードストッパーに給電ケーブルを固定したうえで、速結端子台に電源コードの電源及びアース線の棒端子を接続します。
不備がありますと火災・感電・不点灯の原因となります。

⑤ランプを取り付ける

６ページのランプ交換のしかたを参照して適合する蛍光ランプをお確かめのうえ、ソケットに取付てください。
不備がありますと、感電や火災、不点灯の原因となります。

⚠注意　必ず電源を切って行ってください。感電・やけどの原因になります。